

サステナビリティレポート

Sustainability Report

2024-2025



Commitment

サステナビリティへの 経営コミットメント

お客様と共に想い、 共に創り上げる社会への貢献

私たちキャノンITソリューションズは「先進ICTと元気な社員で未来を拓く“共想共創カンパニー”」をキーメッセージとして掲げた長期ビジョン「VISION2025」を2020年に策定しています。VISION2025は、私たちを含めたキャノンマーケティングジャパングループの社会的な存在意義を明文化したパーパス「想いと技術をつなぎ、想像を超える未来を切り拓く」を指針と位置づけるものです。

そして、VISION2025を実現する道筋として、中期経営計画とともにサステナビリティ戦略を定めました。

このサステナビリティ戦略は、お客さまの課題の解決を通じて、その先にある持続可能な社会の実現を目指すものです。

私たちはそのために、挑戦を続けます。

不確実性に立ち向かう新たな価値観

現代社会における異常気象、パンデミック、地政学リスクなどにより、世の中はもとより企業にとっても前例のない厳しい試練が課せられています。

グローバルな経済の発展とテクノロジーの急速な進化がもたらす便利さと共に、これらのリスクに伴う不確実性の高い社会環境は、企業経営において避けて通れない課題となっています。

不確実性が高まる中で、サステナビリティは経営にとって単なる選択肢ではなく、企業の価値観や経営戦略の中心に位置づけられるべき不可欠なものとなりました。

国連が2015年に採択したSDGsは、持続的な社会を実現するための17の具体的な社会課題を提示しており、それらは私たち企業が創造的なアプローチを通じて、経済、社会、環境に価値ある変革をもたらすことを求めています。

SDGsが持つ価値観は、私たちのビジョンが掲げる「先進ICTと元気な社員で未来を拓く“共想共創カンパニー”」の理念とも一致しています。

深化するサステナビリティ戦略と使命の推進

私たちが定めたサステナビリティ戦略は、お客さまを取り巻く課題やその先にある社会の困りごとに対して、ITによる解決によってサステナブルな社会へ貢献していくことを目指しています。

そして、その実効性を高めるために新しく策定した2023-2025中期経営計画と連動させ、サステナビリティ戦略自体も再構築しました。

再構築したサステナビリティ戦略は、単に経営指針を示すだけでなく、全社員が実行可能なアクションとして組織全体に浸透させるために、主体性と実効性を兼ね備えた戦略に深化させています。キャノンITソリューションズは、これからもサステナビリティの本質に深く迫り、社会に貢献する使命を果たしてまいります。

キャノンITソリューションズ株式会社

代表取締役社長

金澤 明

INDEX

キャノンITソリューションズ
サステナビリティレポート2024-2025

サステナビリティへの経営コミットメント	p.1-2
VISION2025とサステナビリティ戦略	p.3-4
サステナビリティ戦略 2領域8戦略	p.5-12
キャノンITソリューションズ健康経営宣言と認証・認定	p.13
キャノンITソリューションズグループ概要	p.14

長期ビジョン

『VISION2025』の実現に向けた 中期経営計画と連動する 『サステナビリティ戦略』

キヤノンマーケティング

キヤノンITソリューションズ

先進ICTと元気な
“共想共創

私たちのDNA

お客さまに
寄り添う心

先進技術
への
挑戦魂

最後まで
やりきる
胆力

3つの事業モデルと

キヤノンITソリューションズは、2020年に2025年のありたい姿として長期ビジョン『VISION2025』を策定しました。この長期ビジョンが掲げるキーメッセージ「先進ICTと元気な社員で未来を拓く共想共創カンパニー」には、お客さまの課題や社会の困りごとに対して「お客さまと共に想い、その解決策を共に創る企業」になることを目指す想いが込められています。

さらに、長期ビジョンの実現を支える『サステナビリティ戦略』を打ち出しており、社会課題解決への要請に応える当社の姿勢を明確にしています。この戦略は『中期経営計画』と連動し、実効性を高める設計になっています。これら長期ビジョンやグループのパーパスの実現に向け、私たち社員は行動指針である「私たちのDNA」と「大切にしている7つのこと」を核として、サステナビリティ戦略を実践していきます。

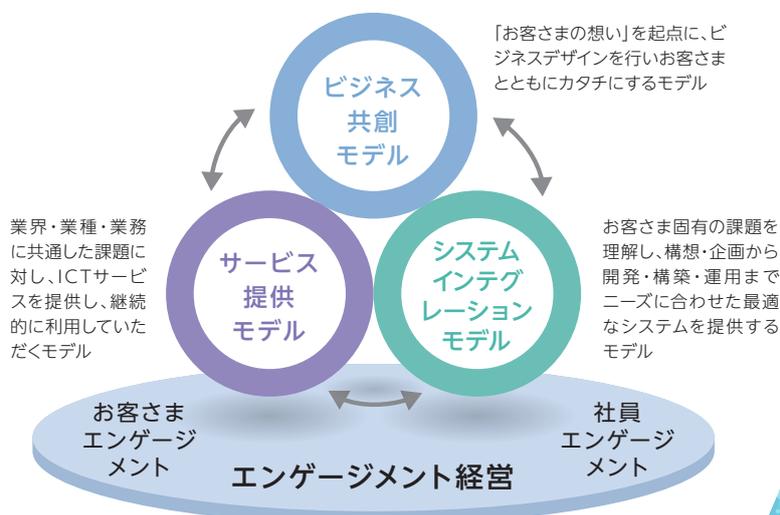
ビジョン実現に向け

中期経営計画

3つの事業モデルと エンゲージメント経営

共想共創カンパニーである当社では、「エンゲージメント経営」により経営基盤を強化しながら、「お客さまの想い」を起点に3つの事業モデルを展開します。

3つの事業モデルは、互いに連携し補い合うことでトータルの価値提供を最大化します。



大切にしている7つのこと

社員が自慢できる会社、さまざまなお客さまが真っ先に相談したい会社を目指すうえで、7つの大切にしていることを定めています。

サステナビリティ戦略

キャノンITソリューションズは2020年から2022年にかけて実行してきた中期経営計画に続き、2023年から2025年に向けた新たな中期経営計画を策定しました。これに伴い2020年に策定したサステナビリティ戦略も、改めて新中計と密接に連動したものに更新しました。新たなサステナビリティ戦略は、新中計の指針「共想共創カンパニーである当社は、お客さま課題の解決を通じて社会のサステナビリティを支援する」に基づいたもので、当社の強みを生かした2つの領域、8つの戦略テーマを設定しています。

「ビジネス領域」では「ICTを通じた社会への価値提供」、「ソサエティ領域」では「社会からの要請と期待への対応」を目的として、それぞれ4つの戦略テーマを設けていきます。

『サステナビリティ戦略』の
2つの領域と
8つの戦略テーマ

SUSTAINABILITY STRATEGY

ビジネス領域

戦略1

ITライフサイクルのフルサポートを通じて
持続可能な社会基盤の構築に貢献する

関連するSDGs



戦略2

総合的なITソリューションを提供するために
強靱かつ安全なインフラを構築する

関連するSDGs



戦略3

デジタルサービスの提供を通じて
産業基盤の構築に貢献する

関連するSDGs



戦略4

お客さまとの共創を通じて
持続可能な社会に貢献する

関連するSDGs



ソサエティ領域

戦略5

継続的な先進ICTの研究開発により
社会課題解決に貢献する

関連するSDGs



戦略6

社員エンゲージメント強化を通じて
働きがいを向上する

関連するSDGs



戦略7

未来を担う子供たちからの
リクエストに応える

関連するSDGs



戦略8

ICTと人の力で社会・お客さまの
環境課題の解決に貢献する

関連するSDGs





戦略
1

■ビジネス領域

ITライフサイクルのフルサポートを通じて 持続可能な社会基盤の構築に貢献する

[持続可能な社会への貢献]

ITの進化は、生活の利便性や業務プロセス、情報管理の効率を向上させ、社会基盤の変革において大きな役割を果たしてきました。

今後は、地球温暖化対策や生物多様性の保全といった環境問題、人権の尊重、新しいワークスタイルの確立、公平な教育機会の提供など、多岐にわたる社会課題へのITのさらなる貢献が期待されます。

関連するSDGs

- 産業と技術革新の基盤をつくろう
- つくる責任
つかう責任
- エネルギーをみんなに
そしてクリーンに
- 働きがいも
経済成長も
- 質の高い教育を
みんなに

[キヤノンITSが共創する経済的価値]

ITライフサイクルの構築・保守・運用というフルサポートによって、バリューチェーンに内在する社会課題を顕在化することができます。さらに、当社の持つ技術とソリューションによって、持続可能な社会基盤の構築に貢献します。例えば、当社のサプライチェーンマネジメントのソリューションは、お客さまの供給網における効率的な運用を実現し、CO₂排出量削減に寄与します。

1 需要予測・需給計画ソリューションにより、適正な在庫コントロールを実現し、廃棄ロス低減や、無駄な輸配送によるCO₂排出量の削減に寄与

▶需要予測・需給計画ソリューション FOREMAST

数理技術・AIによる高度な需給マネジメントを実現し、最適な発注・生産・在庫管理業務で過剰在庫や欠品を防止します。

2 エネルギー業界の構造変化に柔軟に対応するため、エネルギー事業者の変革と持続的な事業運営を支援

▶エネルギー事業者向けのシステム開発

電力事業のお客さま向けに、電力発電・送電・販売の各領域における業務系や購買系のシステム構築から保守・運用までをトータルでサポートします。

3 既存システムのサポートやDXの提供を通じて、金融機関が持続可能なサービスを提供することを支援

▶金融機関向けのシステム開発

銀行、証券、保険、カード、リースなどの事業者が最新のICTを活用し、顧客体験を最大化するためのシステム構築から保守・運用までをフルサポートします。

4 教育支援情報プラットフォームを提供することで、子どもたちの必要な資質や能力を養い、より良い社会を築いていくための環境づくりに貢献

▶教育支援情報プラットフォーム in Campus

学内情報発信の窓口となるポータルサイトと、授業シーンで利用されるLMS(学習管理システム)を中心に、学内の情報共有や授業環境のサポートを行います。



戦略
2

■ビジネス領域

総合的なITソリューションを提供するために 強靱かつ安全なインフラを構築する

【 持続可能な社会への貢献 】

現代の暮らしやビジネスにおいて、ITインフラは不可欠な存在として常に利用できることが当たり前となっています。利用者にとっては、安心して安全に利用でき、何か問題が生じた場合には素早く復旧できることがITインフラには期待されます。

現代の生活やビジネスにおいて、ITが提供する安全で確かな基盤の重要度はますます高まっています。

関連するSDGs

- 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 働きがいも経済成長も

【 キヤノンITSが共想共創する経済的価値 】

当社が運営するデータセンターでは、重障害の発生を防止するための点検や訓練を恒常的に実施し、安全性を担保することでお客様の生活や企業活動の持続可能性を支えます。

また、エネルギー効率の向上や再生可能エネルギーの利用など、持続可能な運営方法を追求することで、環境負荷の軽減にも取り組んでいます。

- 1 データセンターの停電時における設備の正常稼働を検証する総合運動点検を始めとした、PDCAサイクルによるサービス品質向上を通じて、お客さまにレジリエントなインフラ基盤を提供

▶データセンターサービス

20年以上にわたる運用サービスの提供実績と、ティア4レベルの高性能なファシリティや厳重なセキュリティに加え、M&O認証を取得した信頼性の高いデータセンター運営に基づくサービスを提供します。

- 2 持続可能なITインフラサービスにより、企画・設計・構築から運用・保守まで一貫してお客さまの事業活動を支援

▶ITインフラサービス SOLTAGE

クラウドインテグレーション、ネットワーク、システム運用・保守、セキュリティ、データセンターを組み合わせたITインフラサービスでお客さまのシステム運用負荷を軽減します。



西東京データセンター



戦略
3

■ビジネス領域

デジタルサービスの提供を通じて 産業基盤の構築に貢献する

【 持続可能な社会への貢献 】

デジタル技術は、産業の効率化、イノベーションの促進、リソースの最適化に寄与し、エネルギー消費の削減や資源の有効活用が可能になります。さらに、デジタルサービスは、教育や医療、地域社会の発展にも役立ち、社会全体において均衡のとれた成長を促進します。これによって、経済的な成長と環境保全、社会の公平性など、持続可能な開発目標(SDGs)の多様な課題に貢献し、より包摂的な社会の構築に向けて大きく貢献することができます。

関連するSDGs

- 働きがいも経済成長も
- 産業と技術革新の基盤をつくろう
- パートナーシップで目標を達成しよう

【 キヤノンITSが共想共創する経済的価値 】

デジタル技術の進歩は、ビジネスの未来を切り開くために不可欠です。当社ではデータの活用、人工知能(AI)、クラウドコンピューティングなどの先進的なデジタル技術を積極的に活用し、お客さまのビジネス拡大と業務プロセス効率化によって、事業競争力の強化と社会の経済成長に貢献します。

1 価値あるデータとデジタル人材の創造を通じて、お客さまのDX実現を支援

▶データマネジメントサービス

コンサルティングからプラットフォームやAI/BIソリューションの導入に加えて、豊富なデジタル人材育成メニューを提供します。

2 顧客のDXを推進するローコード開発プラットフォームによって、社会全体におけるデジタル人材確保の容易化、DXを実現するシステムの開発に貢献

▶ローコード開発 WebPerformer / WebPerformer NX

専門性の高いシステム開発をローコードにより簡易化・省力化し、顧客のDXを強力に推進します。さらに、ステークホルダーの情報資産を守るセキュアな開発や実行環境を提供するため、インフラの構築・運用も不要になります。

3 医療機関のお客さまが、安心・安全・便利にデジタルヘルスを活用するためのサービスを提供することで、安心で豊かな社会の実現に貢献

▶医療機関向けプラットフォームサービス CONASAS

医療DXを実現する、多層防御のセキュリティ対策を備えた、クラウドサービス活用のためのプラットフォームを提供。安心・安全なネットワーク接続でクラウドサービスの活用促進や医療従事者の柔軟な働き方をサポートします。

4 様々な企業間電子商取引(EDI)のためのソリューションを提供し、企業同士の業務効率化を実現

▶クラウド型EDI サービス EDI-Master Cloud

豊富なOpenAPIを提供し、システム間のクラウド連携を実現する、クラウドネイティブな次世代EDIサービス。EDI運用業務の負荷を軽減します。



戦略
4

■ビジネス領域

お客さまとの共創を通じて 持続可能な社会に貢献する

〔 持続可能な社会への貢献 〕

持続可能な社会の実現には、お客さまとの共創によるイノベーションが不可欠です。お客さまと共創することによって、お客さまのニーズと社会課題に対する理解が深まり、持続可能な製品やサービスの開発を促進することができます。また、お客さまとの対話から得た知見やフィードバックは、より効果的なソリューションを生み出し、経済的、社会的、環境的に責任あるビジネスモデルの構築にも寄与します。この共創のアプローチにより、企業活動を通じた社会全体の持続可能性の開発に貢献します。

関連するSDGs

- 働きがいも経済成長も
- 産業と技術革新の基盤をつくろう
- パートナーシップで目標を達成しよう

〔 キヤノンITSが共創する経済的価値 〕

お客さまが社会課題の解決という大きな事業変革に取り組むために、当社ではビジネス共創モデルを通じてお客さまの事業環境や経営戦略・経営課題を深く理解し、お客さまのビジネスをデザインします。さらに、これまで蓄積してきた多様な知見やノウハウとデジタル技術を組み合わせ、データドリブン経営を提供します。

1 経営とデジタルの知見を基に、お客さまの“本質的なデジタルトランスフォーメーション”を支援することで、新たな社会価値創造に貢献

▶ビジネス共創フレームワーク

経営からトップダウンで実践するDXを成功に導く3つの取り組み、「DX戦略立案支援」、「DX計画立案支援」、「DX実行支援」でお客さまのDXの実現を支援します。

2 データから意思決定を自動化するDX推進サイクルを継続的に改善し、この好循環のサイクルタイムを短縮することで、レジリエンスを強化

▶データドリブン経営

経営における課題を把握し、アクションプランを明確にする「DXビジョン策定」、意思決定を行える範囲を特定し、決定の速度と精度を向上する「DX実践・展開」、事業のバリューアップの要因を探り、戦略に組み込む「DX定着化・CX改善」の3つの観点でデータドリブン経営を加速させます。





■ ソサエティ領域

戦略
5

継続的な先進ICTの研究開発により 社会課題解決に貢献する

[持続可能な社会への貢献]

先進ICTの研究開発が、社会課題の解決において重要な役割を果たすことが期待されています。例えば、環境問題や都市の交通混雑問題において、スマートな解決策を創発することが挙げられます。このような取り組みを通じて、先進ICT技術は新しい可能性を切り拓き、社会に持続的な変革をもたらすことでしょう。ICTの進化により、社会全体にプラスの影響を与え、持続可能な社会の実現に向けて貢献することが期待されています。

関連するSDGs

産業と技術革新の
基盤をつくろう

[キヤノンITSが共想共創する社会的価値]

先進ICT技術を研究し、実践することによって、社会課題の解決に貢献する技術革新の種を見つけ出す取り組みを続けます。例えば、効率的なAI開発を支援するプラットフォームを開発し、様々なシーンで活用されることで、労働力不足、人件費の高騰、生態系の保全、食品ロスの削減、災害対策といった多岐にわたる社会課題の解決に寄与します。

1 災害発生リスクを未然に防止するサービスを開発。AIを利用した改善の継続によって、安全かつレジリエントで持続可能な都市の実現に寄与

▶ 煙検出AI連携サービス

高所カメラなどで撮影した画像をAIが分析し、煙を検出すると即座に担当者へ通知します。これにより防災・減災を強化します。

2 過去のシステム開発案件から共通の構造を抽出し、蓄積された知見を集約して、自社独自の数理技術を用いることで社会課題解決に寄与する新たなソリューションの開発を推進

▶ サプライチェーン計画ソリューション SCPlanet

数理技術を用いた自動計画を通じて、生産計画や物流計画といったサプライチェーン全体を最適化し、持続可能で強固なサプライチェーン構築に貢献します。





戦略
6

■ソサエティ領域

社員エンゲージメント強化を通じて 働きがいを向上する

〔 持続可能な社会への貢献 〕

企業がサステナビリティ経営に積極的に取り組むことで、働きがいが向上し、社員エンゲージメントの強化につながります。このような取り組みは、社員と会社の絆を深め、活力に満ちた職場環境を創造します。それにより、信頼される企業としてお客さまに高い価値を提供し、健全な組織文化を築き上げます。サステナビリティの理念が組織風土に根付くことで、社員が一体感を育み、共に成長することができ、組織全体にも良い影響を与えます。

関連するSDGs

- 働きがいも経済成長も
- ジェンダー平等を表現しよう

〔 キヤノンITSが共想共創する社会的価値 〕

キヤノンITSは、長期ビジョン「VISION2025」の下で「社員と会社」、「お客さまと会社」の二つのエンゲージメントを推進しています。社員とのエンゲージメントを強化することで、社員と会社の絆を深め、元気に社員のいる職場を実現します。これにより、お客さまに頼られる、価値を創出して社会に還元できる企業を目指します。

- 1 健全な労使関係のもと、社会的責任の遂行やビジョン浸透施策などを通じ、企業理念の理解を深化
- 2 多様な働き方を支援し、社員間のつながりを強化することで組織内の相互理解を深め、共感を醸成
- 3 報酬制度改定や成長意欲を促す多彩な施策により、社員の向上心や働きがいを高め、行動意欲を促進





■ソサエティ領域

未来を担う子供たちからの リクエストに応える

〔 持続可能な社会への貢献 〕

子供たちの声なきリクエストに耳を傾けることは、持続可能な未来を築くための重要なステップです。彼らが環境意識を高め、社会的責任を学び、技術革新に対してオープンになることを促すことは、社会にとって不可欠です。

社会全体が、彼らの教育、成長、そして未来のリーダーとしての能力開発を支援することの責務を負っています。私たちにできる支援は何かを考え続け、実行することは、公正で持続可能な社会を築くための基盤となります。

関連するSDGs

■ 質の高い教育を
みんなに

〔 キヤノンITSが共想共創する社会的価値 〕

未来を担う子供たちのリクエストに応えるため、ITは彼らの教育において中心的な役割を担います。例えば、技術的なスキルを磨くだけでなく、今後ますます進化する情報社会において、物事の本質を洞察し、未知の新しいアプローチを発見する機会を積極的に提供します。

1 内閣府男女共同参画局主催の「リコチャレ※」に賛同。理工系の職場でも男女格差なく活躍できることを紹介し、理工系へ挑戦しようとする学生を支援

※女子学生が理工系分野に興味・関心を持ち、将来の自分をしっかりイメージして進路選択することを応援する内閣府の取り組み

2 中学・高校・専門学校の企業訪問を受け入れ、最先端の情報技術を扱う職場を体感する機会を提供。IT業界への就業意欲を高めて、将来のIT人材育成に貢献





■ ソサエティ領域

ICTと人の力で 社会・お客さまの 環境課題の解決に 貢献する



[持続可能な社会への貢献]

ICTを活用して環境データを収集・分析することで、より具体的かつ効果的な環境対策を講じることが可能です。人の創造性とICTの力を融合することで、これらの対策はさらに革新的で実行可能性の高いものへと進化し、環境保護に大きく貢献します。このようなアプローチは、持続可能な社会を実現するための環境問題解決に不可欠な役割を果たし、地球環境の保全に寄与することにつながります。

関連するSDGs

- エネルギーをみんなに
そしてクリーンに
- 気候変動に
具体的な対策を

[キヤノンITSが共想共創する社会的価値]

未来に大きな影響を与える環境課題に対処するためには、ICTと人の知恵が融合した持続的な解決策を模索することが不可欠です。お客さまのデータセンター利用を推進することにより、社会全体のCO₂排出量削減に貢献しています。また、データセンター運営においてもCO₂排出量抑制施策に取り組み、環境に配慮したアプローチを推進しています。

- 1 CO₂削減会議を毎月開催し、データセンターの電力負荷に合わせた運用方法及び省エネ対策を実施
- 2 データセンター運営において、CO₂排出量を抑え、環境負荷低減を実現する空調機の運転周波数適正化や、冬季期間の外気を利用しながら効率よく熱交換を行う熱源設備の導入などの取り組みを推進
- 3 BEMS(ビル・エネルギー管理システム)の活用によって熱源機器などのエネルギー分析を行い、効率的なデータセンター設備運用を実施

Column

○ クオリサイトテクノロジーズ株式会社

ニアショア・ダイレクト・モデルで 地方の働き方を変える

沖縄県と北海道に拠点を置くグループ企業クオリサイトテクノロジーズは、首都圏に集中するITビジネスを地方に分散するニアショアによって、事業の成長を続け、地方の発展に貢献したいと考えています。

これまで地方では、IT業界は都市部からの下請けが多く、付加価値と成長機会の乏しい産業として認知されていました。

同社では創業以来、沖縄県と北海道において、地域自治体と連携して事業基盤を拡大し、首都圏の大手企業



クオリサイトテクノロジーズ本社ではRE100準拠の実質再生可能エネルギー100%での施設運用を開始しています。

との直接契約にこだわった高付加価値の「ニアショア・ダイレクト・モデル」を展開しています。

大手企業の高い要求水準に応える付加価値の追求を通じて、会社と社員がともに成長することで、地方の未来を拓くことにつながると考えるからです。

キャノンITソリューションズ 健康経営宣言

HEALTH MANAGEMENT DECLARATION

キャノンITソリューションズでは、
「キャノン行動指針」に掲げている「健康第一主義」に基づき、
従業員の健康支援ならびに健康経営の実現に向けた取り組みを推進しています。
従業員一人ひとりの健康が、従業員の幸せやパフォーマンスの向上につながり、
企業の成長や持続性に寄与すると考え、
健康経営に積極的に取り組むことを宣言します。

キャノンITソリューションズ株式会社
代表取締役社長 金澤 明

認証・認定

CERTIFICATION

キャノンITソリューションズは、ステークホルダーに安心・安全をお届けするために、
第三者による認証・認定を積極的に取得しています。

 <p>2024 健康経営優良法人 Health and productivity ホワイト500</p> <p>健康経営優良法人 (ホワイト500)</p>	 <p>プラチナくるみん 子育てサポートしています</p> <p>プラチナくるみん</p>	 <p>CERTIFIED MANAGEMENT SYSTEM JQA ISO/IEC 20000 JQA-IT0077</p> <p>ISO/IEC20000 登録証番号: JQA-IT0077</p>	 <p>CERTIFIED MANAGEMENT SYSTEM JQA ISO 22301</p> <p>ISO22301 登録証番号: JQA-BC0035</p>
 <p>2020年認定 くるみん 子育てサポートしています</p> <p>くるみん</p>	 <p>SYSTEM CERTIFICATION ISO 14001 SGS</p> <p>ISO14001 適用範囲:すべての国内事業拠点</p>	 <p>UPTIME INSTITUTE APPROVED M&O Canon IT Solutions Inc. Mitsui-Tokyo DC, Bldgs 1 & 2 Exp. 22 September 2025</p> <p>M&O認証</p>	 <p>iGms / PCI DSS iGms</p> <p>ICMS-PCI0405 / PCI DSS PCI-DSS</p>
 <p>JUSE REGISTERED FIRM ISO/IEC27001 JUSE-IR-113</p> <p>ISO/IEC27001</p>	 <p>大切にします プライバシー 11820184</p> <p>プライバシーマーク</p>	 <p>AICPA SOC aicpa.org/issociso SOC For Service Organizations Member Organizations</p> <p>SOC2</p>	 <p>TOP LEVEL FACILITIES TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT Tokyo Cap and Trade Program</p> <p>準トップ事業所認定 認定番号: 2020-N2048</p> <p>適用範囲: 西東京データセンター</p>

事業所・関係会社

CORPORATE INFORMATION



[本社・事業所]

- ① キヤノンITソリューションズ品川本社
天王洲事業所
西東京事業所
小杉事業所
宇都宮事業所
- ② 大阪事業所
- ③ 名古屋事業所
刈谷事業所

[関係会社 (国内拠点)]

- ④ クオリサイトテクノロジーズ株式会社

[関係会社 (海外拠点)]

- ⑤ Canon Software America, Inc.
- ⑥ Canon IT Solutions (Thailand) Co., Ltd.
Material Automation (Thailand) Co., Ltd.

会社概要

PROFILE

主要事業 SIおよびコンサルティング、各種ソフトウェアの開発・販売
設立 1982年7月1日
資本金 3,617百万円
所在地 東京都港区港南2-16-6 キヤノンSタワー
代表者 代表取締役社長 金澤 明
株主構成 キヤノンマーケティングジャパン株式会社100%
従業員数 4,000名 (2023年12月末時点 単体)
売上高 126,904百万円 (2023年12月期 単体)
URL <https://www.canon-its.co.jp/>

LATEST INFORMATION

キヤノンITソリューションズのサステナビリティ最新情報は右記よりご覧いただけます。



